

鳴瀬川総合開発環境検討委員会

設立趣意書（案）

鳴瀬川総合開発事業は「ダム事業の検証に係る検討」を経て、平成 26 年度から東北地方整備局が「筒砂子ダム（新築）と漆沢ダム（改築）」の建設（「実施計画調査」段階）を進めています。

ダムおよびその周辺地域は、ブナ林などの原生的な自然林が分布し、また河道は山あいを流れる溪流の様相を呈す自然環境に恵まれた地域であり、多様な動植物の生息場ともなっています。

このため、鳴瀬川総合開発調査事務所は事業の実施にあたり、このような豊かな自然を可能な限り保全するため、環境影響評価法の対象となるダム新築の筒砂子ダムについてはもちろんのこと、環境への影響が比較的少ないダム改築の漆沢ダムについても事前の調査、検討を行い、必要に応じて対策などを実施していくこととしました。

このことから、鳴瀬川総合開発事業における環境要素に関する現状把握、予測や評価などに対する技術的な指導・助言を得るために「鳴瀬川総合開発環境検討委員会」を設置するものです。